

# 序論 海岸保全基本計画策定にあたって

## 1. 伊予灘沿岸の概要

伊予灘沿岸は、佐田岬から高縄半島先端の錨掛ノ鼻に至る瀬戸内海に面した沿岸である。沿岸の内、佐田岬から双海町にかけては佐田岬半島宇和海県立自然公園に、中島町の島しょ部一帯を含め松山市から錨掛ノ鼻にかけては瀬戸内海国立公園に指定されるなど、優れた景観を呈している。



重信川河口干潟

当沿岸東部では、松山平野が広がり海域の水深も浅く比較的平坦で砂浜海岸が多く、沿岸西部では、山が海に迫り海岸線は変化に富んでいる。



松山港

沿岸域一帯には藻場が広がり、また、重信川河口に形成された干潟には多くの鳥類の渡来地になっているなど、豊かな自然も多く残されている。

松山市の位置する沿岸東部は、愛媛県の政治・経済・文化の中核をなす地域を形成し、中島町を中心とした島しょ部は、瀬戸内の多島美を誇り、農漁業と観光を主産業とする地域である。



夕やけこやけライン

松山市から佐田岬に向けた美しい海岸線は「夕やけこやけライン」、「メロディライン」などドライブウェイとして、島しょ部はトライアスロンなどマリンスポーツイベントの開催地として利用されている。

当該沿岸は前面の海域が開けていることから、台風や季節風により高波が発生したり、高潮偏差が大きいいため、台風時に高潮が発生し、浸水の危険性が高い。



トライアスロン

地震時には、沖積層からなる松山平野を中心に液状化の発生が予想されるが、津波については予想津波高も低く、津波による浸水の危険性は少ない。

このように伊予灘沿岸は、漁業、産業利用、レクリエーションなど多様な利用がされる中、美しい自然や貴重な自然が残されている地域であるが、浸水被害の危険性が高い地域も多くある。このため、貴重な自然環境の保全と利用に十分配慮し、防護対策の強化が必要な地域である。



立岩海岸